

【エクアドル経済：2011年6月】

1. 国内経済

(1) 電気料金補助金の削減

4日、コレア大統領は恒例の土曜演説に於いて、「来る7月1日より500Kw/月以上使用している世帯に対して、電気料金への補助金を削減する。電気使用量に応じて料金を支払ってもらう」と発表した。

6日、アルボルノス電力・代替エネルギー大臣は電気料金補助金削減に関する政府案を発表し、「7月1日より500Kw/月以上使用する世帯に対して累進的に補助金を削減する。国内の電力使用世帯は335万9400世帯に達する。うち、100kW/月以下の世帯は55%、500kW/月以下の世帯は97.5%である。今般政策は富裕層7万7680世帯(2.4%相当)が対象となる」と語った。

【参考：1kW/月あたりの電気料金に関する政府案は次の通り】

KW/月	現行	政府案
	キト/グアヤキル	キト/グアヤキル
0～50	6.8 / 6.8 セント	変更無し
51～100	7.1 / 7.1 セント	変更無し
101～150	7.3 / 7.3 セント	変更無し
151～200	8.0 / 8.0 セント	変更無し
201～250	8.7 / 8.6 セント	変更無し
251～500	8.9 / 9.3 セント	変更無し
501～750	8.9 / 9.3 セント	一律 11.85 セント
751～1000	8.9 / 9.3 セント	一律 16.05 セント
1001～1500	8.9 / 9.3 セント	一律 26.48 セント
1501～2000	8.9 / 9.3 セント	一律 42.56 セント
2001～	8.9 / 9.3 セント	一律 67.12 セント

2. 対外経済

(1) 対中関係

14日、コレア大統領は中国より新たに総額20億ドルの融資を借入れると発表した。右新規融資は本年上半期及び下半期の計二回に分け渡される。融資期間は8年、償還猶予期間は2～3年、年利は6.9%固定。融資条件は付与されておらず自由裁量。右融資は、①マサル水力発電所(Mazar-Dudas):4160万ドル、②ミナス水力発電所(Minas San Francisco):5億600万ドル、③キホス水力発電所(Quijos):9550万ドル、④ビジョナコ風力発電所(Villonaco):3750万ドル、⑤灌漑用水:9億4600万ドルなどの建設に充てられる。

30日、当国財務省及び戦略部門調整省は中国輸銀との交渉を終え、ソプラドラ水力発電所の建設にかかる融資5億7100万ドルを取り付けた。融資契約は北京にて来る8月に締結される見通し。償還期間は15年、償還猶予期間は4年、年利は6.35%固定、ソプラドラ水力発電所は総工費6億7千万ドルの大型インフラ事業であり、今般融資により総工費の85%をカバーすることとなった。この融資が確定すれば、対中債務残高は72億7100万ドルに達する。

(2) 対ベネズエラ関係

7日、サリーナス県にて第9回エクアドル・ベネズエラ首脳会合が開催された。首脳会合では科学技術及び中間産業分野5件、農業分野1件、エネルギー分野1件、観光分野1件の協定に署名した。両国首脳は二国間関係を促進する合意の進捗に満足の意を表明した。

(3)ヤスニ ITT プロジェクト

4日、コリア大統領は恒例の土曜演説でヤスニ ITT プロジェクトに言及し、「本年末までに目標額1億ドルの支援金が集まらない場合には、環境に配慮し可能な限りの技術を投入し、T(タンボコチャ坑井)及び T(ティプティニ坑井)の開発を行う。我々(政府)は善良者であり、為すべきことは良く承知している。政府を信じて欲しい。」旨語った。

18日、環境省はブロック31 鉱区及び T(タンボコチャ)・T(ティプティニ)の環境影響調査及び3D反射法地震探査を終えた。右調査結果は3ヶ月以内に発表される見通し。